

園文化をデザインする

⑧

作ってみよう、冬

葉っぱ・氷を
使って

(木育インストラクター)

中村紘子

園にある見えるもの、見えないもの。子どもの体いつぱいに降り注ぐ、大人からのメッセージ。

針葉樹の葉っぱを集めて 作ってみよう



スギ、ヒノキ、モミ、ヒバの葉を使って...

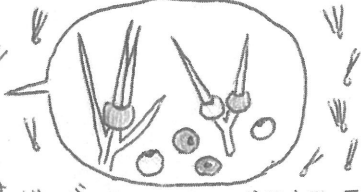
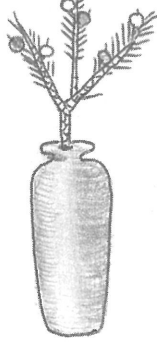
型抜きをした紙粘土に葉っぱを配置して、やさしく指で押し当ててから、そっとはがすと葉っぱの模様がうつります。

ストローなどに穴を開け、ひもやリボンを通せば、葉っぱ模様のオーナメントの完成です。



マツの葉も使って...

マツの葉にビーズを挿して、ビンや紙粘土を詰めたペーパーボウルに飾るとおしゃれなインテリアに♪

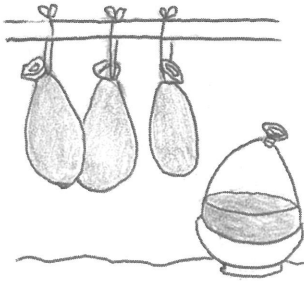


ビーズは取外しができるのでクリスマスとお正月でそれぞれ色を変えて楽しむこともできます。

中村紘子 (なかむら ひろこ)
元小学校園工科講師。
木育インストラクター、保育ナチュラリストとして千葉で活動中。

冬のお庭でわくわく! ❄️*.*.*.* ❄️ ❄️*.*.*.* ❄️ 氷遊び

寒さが身にしみる冬の朝。
子どもたちが園庭に張った氷を見つけてくる
ようになったら、今年の氷遊びの始まりです。
いろいろな形の容器を使ったり、水と一緒に
お花や葉っぱを入れておいたり…。
氷になるまで待つ時間もまた楽しいひとときです。



風舟台を使ってできる氷も魅力的です。
空気を入れる割合を変えてみたり、
中心部分はあえて水のままにしてみたり。
いろいろ言試してみると発見もたくさん!

風舟台を割って中の氷を
取り出す瞬間は
子どもたちの目も
輝きます。



..*.*.*.*.*.*

作った氷をお皿の上に並べて、
裁糸縫糸を垂らし、糸と氷が
角触れているところに塩をひとつまみ。
ゆくり10秒数えてみると、
あら不思議!! 氷が糸で
持ち上がります。子どもたちの
アイデア次第で遊びが
どんどん広がります。



文化